

# なぜ開門調査をめざすのか 韓国の事例と伝統漁法から学ぶ

「清流長良川流域の生き物・生活・産業」連続講座 Vol.3

主催：愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会

開けゴマ！

川と海、ぎっしり詰まった  
宝よ、出てこい！



全開中の長良川河口堰  
水資源機構中部支社のHP より

## 第1部 13:30~15:00 長良川とナクトンガン

- 李根熹 Lee, Geun Hee (釜山広域市気候環境局長)
- 小島敏郎 (愛知県政策顧問/青山学院大学教授)
- 伊藤達也 (法政大学教授)
- 武藤仁 (長良川市民学習会事務局長)

## 第2部 15:10~16:30 川漁師と伝統漁法

- 大橋亮一 (長良川漁師) ● 磯貝政司 (写真家)
- 秋山雄司 (元天竜川漁協組合長)
- 蔵治光一郎 (東京大学准教授)
- 山本敏哉 (豊田市矢作川研究所主任研究員)

司会 原田さとみ (エシカル・ペネロープ代表/タレント)



瀬張り網漁 写真 磯貝政司



木曾三川 写真 磯貝政司



洛東江(ナクトンガン) 写真 武藤仁

連絡先：愛知県振興部土地水資源課 TEL 052-954-6121

# なぜ開門調査をめざすのか： 韓国の事例と伝統漁法から学ぶ 「清流長良川流域の生き物・生活・産業」連続講座 Vol. 3 プログラム

第1部  
13:30~15:00  
長良川とナクトンガン

講演1：釜山市の河口堰開門への取り組み（李根熹 釜山広域市気候環境局長）  
講演2：長良川河口堰開門調査の検討の現状（小島敏郎 愛知県政策顧問）  
パネル・ディスカッション：李根熹、小島敏郎、伊藤達也（法政大学教授）、  
武藤仁（長良川市民学習会事務局長）



李根熹 (Lee, Geun Hee) : 釜山広域市気候環境局長。1964年生まれ、釜山大学校環境工学科卒業（学士・修士）、東京大学都市工学科卒業（博士）1994年より故郷の釜山広域市勤務。釜山広域市の河川管理課長、洛東江管理本部長を歴任し、2016年1月より現職。釜山圏洛東江再生事業や洛東江5地区の河川敷生態公園の造成、維持管理業務に携わる。



小島敏郎（こじま としろう）：青山学院大学国際政治経済学部教授／弁護士／愛知県政策顧問／名古屋市経営アドバイザー／渋谷区環境基本計画改定委員会委員。東京大学法学部卒業後、環境庁入庁。環境基本法を始め、主要な法律の制定業務を担当し、2005年から地球環境審議官に就任。気候変動枠組条約などに取り組み、2008年退官。



伊藤達也（いとう たつや）：法政大学文学部教授。愛知県碧南市生まれ、金沢大学法文学部を卒業後、名古屋大学にて学位を取得。金城学院大学現代文化学部教授を経て現職。著作は、「水資源開発の論理」、「木曾川水系の水資源問題」など。



武藤仁（むとう ひとし）：長良川市民学習会事務局長。1950年、岐阜市で生まれる。2010年名古屋市上下水道局退職。2006年技術士（上下水道部門）登録。1980年代より木曾三川流域のダム・水問題の市民運動に参加。2007年から長良川市民学習会事務局長を務め現在に至る。

第2部  
15:10~16:30  
川漁師と伝統漁法

写真と語りによる長良川の自然と伝統漁法：磯貝政司（写真家）、大橋亮一（長良川漁師）  
ワイワイ談義：磯貝政司、大橋亮一、秋山雄司（元天竜川漁業協同組合長）、蔵治光一郎（東京大学准教授）、山本敏哉（豊田市矢作川研究所主任研究員）



磯貝政司（いそがい まさじ）：写真家。1941年愛知県新城市で生まれる。1975年から本格的に写真に取り組みはじめ、コンテスト等に応募し、「木曾三川治水100周年記念コンテスト」大賞など多数受賞。2004年から長良川漁師・大橋兄弟の聞き取り取材と出版作業に時間を費やす。現在は、出版物寄稿やトークショーなどに出演。



大橋亮一（おおはし りょういち）：長良川漁師。岐阜県羽島市生まれ、現在も長良川で漁を続ける81歳の現役漁師。2010年には、生まれ育った長良川を語った「長良川漁師口伝－僕んたア、長良川の漁師に生まれてよかったなあ」を出版。



秋山雄司（あきやま ゆうじ）：元天竜川漁協組合長（現顧問）／静岡県内水面漁場管理委員会委員。1944年静岡県浜松市生まれ（72歳）子供のころから天竜川に親しみ、変わりゆく川のありさまに危惧を抱いてきた。天竜川漁業協同組合監事、理事を経て組合長を3期務める。漁協顧問としてダムに寸断された天竜川の自然環境の再生に取り組み、かつて天然アユが大量に遡上した豊かな川にしようと、多くの仲間や組織と協力して行動している。



蔵治光一郎（くらじ こういちろう）：東京大学准教授。東京大学助手、講師、東京工業大学講師を経て現職。2003~16年に愛知県瀬戸市の附属演習林生態水文学研究所に勤務。著書に『緑のダムの科学－減災・森林・水循環－』、『森の「恵み」は幻想か－科学者が考える森と水との関係』など。



山本敏哉（やまもと としや）：豊田市矢作川研究所主任研究員。大阪府吹田市生まれ、京都大学農学部水産学科卒業。豊田市矢作川研究所研究員を経て現職。主な研究は矢作川流域におけるアユの長期モニタリングなど。著書は、「内水面漁業を支える地域の研究所」など。



原田さとみ（はらだ さとみ）：エシカル・ペネロープ株式会社代表取締役／タレント。タレント活動のかたわらフェアトレードのお店を経営。フェアトレード名古屋ネットワークの代表として、2015年9月には名古屋市長と共同で「国際フェアトレードタウンなごや宣言」を行い、名古屋市を日本で2番目の認定都市に。

memo